有信（ゆうしん）

第162号
2022春～2022夏
2022年（令和4年）

福岡大学同窓会報
（編集･広報委員会）

発行所
郵便番号 814-0180　福岡市城南区七隈 8-19-1
一般社団法人 福岡大学同窓会有信会
電話（092）871-6631　FAX（092）863-3668
E-mail yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp
印刷所
福岡市西区周船寺 3-28-1　正光印刷（株）

2 面　石村理事長メッセージ～有信会行事での再会を願い～
3 面　令和 4 年度会員大会、支部長会、代議員総会は中止に　代議員選挙の公示
4 面　有信会行事中止へ～コロナ感染が収束せず
5 面　医学部同窓会が総会開催、経済学部同窓会がHPリニューアル
6～7 面　特集　母校中央図書館へ行こう！
8～9 面　七隈TOPICS～ 卒業式・入学式ほか
荒牧副学長が退任、ヨット部艇庫をリニューアル、文系センター前が芝生広場にほか
10 面　新任支部長が報告
11 面　支部ヒストリー～存続へ再登板～錦野徳島県支部長
12～13 面　有信会理事・監事に聞く～コロナ禍の同窓会を考える～
14～15 面　令和 3 年度　事業報告・収支計算・財務諸表
16 面　南極の氷を贈呈、諫早支部出口さん死去
お知らせ、訃報、お悔やみ

10年目を迎えた母校中央図書館と旧図書館（ゼミ棟）

令和4年度会員大会は中止に
石村理事長メッセージ
～辛抱強く、有信会行事での再会を願い～

特集 母校中央図書館へ行こう！
支部ヒストリー・錦野徳島県支部長
有信会理事・監事に聞く　医学部同窓会が総会

有信会のホームページ　有信会　検索

有信会への問い合わせは
yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

福岡大学（母校）の情報は
https://www.fukuoka-u.ac.jp/

理事長メッセージ

辛抱強く、有信会行事での再会を願い

一般社団法人福岡大学同窓会有信会　理事長　石村國芳

コロナ感染が繰り返し続く中、有信会の関係の方々は、どのようにお過ごしですか。昨年6月に有信会理事長を拝命して以来、会員の方々と顔を合わせ、言葉を交わす機会が叶わず、心を痛める毎日です。会員の方々の命、健康第一を思うと、以前の対面での楽しい語らいができないことは、残念でなりません。福岡大学・同窓会有信会の出会いが、すべての会員の方にとって「財産」になることを願っています。

◆　◆　◆

有信会の皆様も見られたことがあると思いますが、7月15日早朝、3年ぶりに博多祇園山笠の「追い山笠」が「疾病退散」を願い、博多の街を熱く走りました。コロナ禍だからこそコミュニケーションを大切に空間を埋め、「伝統の継承と人間の絆の強さ」をこの祭りで示されました。このことは有信会活動でも同様に、大切なことだと思います。皆様の地元の「お祭り」は開催されそうですか?ここで改めて、有信会事業として「母校への助成事業」「機関紙その他の刊行事業」は実施できてますが、「学術文化に関する講演会、調査研究の事業」「母校同窓会会員相互の親睦、情報交換や連絡等に関する事業」の多くが現在、停止しています。

◆　◆　◆

明るいニュースとしては、今年7月15日からアメリカ・オレゴン州で開催された「第18回世界陸上競技選手権大会」に本学卒業生4人が出場し、母校福岡大学を力強くアピールしてくれました。男子走高跳・真野友博選手（工H31）、混合4×400mリレー・久保山晴菜選手（スポ科H31）、女子やり投げ・上田百寧選手（スポ科R4）、女子4×100mリレー・兒玉芽生選手（人文R4）です。また、他の多くの部活動も活躍が見られ、附属の大濠高等学校・若葉高等学校も多くの分野で頑張っています。

◆　◆　◆

今、すべての私立大学・国公立大学が自らの努力と、他大学と連携し、更なる大学の魅力化が求められています。若者が未来に夢を持ち、生きがいがもてる大学の活性化が。そのためにも、人材育成・互いを信頼し合い、心の絆が深まる社会作りを模索してます。わが母校福岡大学の建学の精神である「思想堅実」「穏健中正」「質実剛健」「積極進取」を教育研究の理念として、「人材教育と人間教育」「学部教育と総合教育」「地域性と国際性」を基本とし、2023年、母校福岡大学案内で「出会いは無限。この可能性はボーダレス。文理が交わるワンキャンパス。そこに広がる学生生活には多様なルーツや考え方、価値観が溢れている。無限の可能性を秘めた世界へ、自分から飛び込もう」ということを実現するために、カリキュラムをはじめ、多くの教育活動でプロジェクトが作られ、優秀な人材育成に努めるというメッセージを発信しています。

◆　◆　◆

このような状況下で後ろ向きにならず、プラス思考で会員の方々と共に前を向いて、進み出しましょう。会員の方々のお知恵を頂きながら、一日も早く、有信会の行事ができる日が来ることを、願ってやみません。重ねて有信会の方々のお力添えをお願い致します。「オール福大」「オール有信会」で心を一つにし、母校福岡大学を目指す生徒達に、エールを送りましょう。

会員大会

会員大会は中止に ～感染の拡大を憂慮～

6月25日に福岡市のホテルニューオータニ博多で開催を予定していた令和4年度の会員大会は、新型コロナウイルスへの感染が引き続き拡大している状況を配慮し、4月25日の理事会で中止を決めた。

今年に入り、新型コロナウイルスの感染、まん延が未だ収束せず、有信会でも多くの行事が中止された。

会員大会

支部長会、代議員総会、記念講演会も中止

令和4年度会員大会の中止を受け、支部長会、代議員総会、講演会(講師＝朔啓二郎学長)も中止となった。新型コロナウイルスの感染者が増加し、当面収束の見通しが立たないので「会員大会を万全の体制で開催することは難しい」との判断となった。

有信会　支部長会

代議員総会は書面決 送付で決議

支部長会は5月中旬に支部長あてに開催中止についての文書を送付、代議員総会も代議員全員(385人)に提案書(資料及び令和4年度定時代議員総会議決権行使書)を送付し、書面による同意の意思表示を依頼。代議員全員(死亡者等除く)から、議題に同意する書面が有信会事務局に送付されたことから、本年8月をもって令和4年度定時代議員総会の決議がされた。

代議員総会

次期代議員の立候補公示について

現在の代議員の任期が令和5年3月31日で満了となるため、次期代議員の立候補受付を10月3日に有信会のホームページで公示する。次期代議員の定数は548人。各学部別代議員定数は別表のとおり。立候補受付の締め切り日は11月30日(当日消印有効)。

学　部	定　数
人文学部	40
法学部	93
経済学部	98
商学部	120
商学部第二部	30
理学部	23
工学部	78
医学部	14
薬学部	26
スポーツ科学部	26
合　計	548

同窓会事業、母校の活動を支援する代議員

代議員は、有信会の同窓会活動の根幹が母校愛に根ざしたボランティア活動であることを理解し、有信会の最高議決機関である定時代議員総会(毎年6月)への出席、有信会および母校の行事等に積極的に協力、参加する役割を担う。次期代議員の任期は令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間。

退任支部長に感謝状

支部活動に長年貢献のあった3支部長が令和3年度で退任された。退任されたのは、川村格(徳島県支部)、澤藤芳昭＝故人(山口支部)、近藤英紀＝故人(久留米支部)の3支部長。令和4年度会員大会が中止となったため、6月末に感謝状を贈った。

有信会行事

有信会行事、令和4年度はすべて中止に

会員の親睦、情報交換、異業種交流を目的に親しまれている「有信八日会」。今年度も新型コロナウイルス感染拡大の状況を検討し、令和5年3月まで、年間9回の「全ての有信八日会」を中止とした。これで3年連続での中止となる。

今年度は、4月から感染対策や安全を考慮した形での運営による開催で、再開に向けた準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染者が増え、収束が見込めないと判断した。在学生との懇談会(5月11日ホテル日航福岡)も中止された。

中止されている有信会八日会

ホームカミングデーは実施の予定

母校と有信会の共催による「第18回福岡大学卒業生ホームカミングデー(卒業生の集い)」については、11月に実施の方向で調整されている。開催の正式日時は新型コロナウイルス感染の状況により判断される。(詳細は適宜大学ホームページで確認ください)　写真＝例年のホームカミングデー

3人へ奨学金を授与 令和4年度 有信会奨学基金

有信会奨学基金の奨学生採用式が7月7日、母校文系センター15階会議室であり、母校から朔学長、栫井学生部長、有信会から川畑名誉理事長、石村理事長が出席した。今年度は、山口雄大さん(法学部法律学科4年)、徳間瑞季さん(法学部経営法学科4年)、内田大貴さん(理学部応用数学科4年)の3人が採用され、朔学長から奨学生証が授与された。＝写真

奨学金は、有信会が一般社団法人移行の際に贈った特定寄付を原資に母校が創設。最終学年次対象者で、1人50万円(卒業後10年間での返済)を無利子で貸与する。

「令和4年度レディーズクラブのつどい」「チャリティーゴルフ大会」

「令和4年度レディーズクラブのつどい」、「チャリティーゴルフ大会」も新型コロナウイルスの影響による健康と安全を考慮し、今年度の開催は中止となった。

「レディーズクラブのつどい」は11月12日(ホテルニューオータニ博多)、チャリティーゴルフ＝写真＝は10月に開催を予定していた。

チャリティーゴルフ大会

学部同窓会

医学部同窓会（烏帽子会）が総会開催
会長に小玉医学部長

医学部同窓会の烏帽子会（小玉正太会長）は7月2日、福岡市のソラリア西鉄ホテルで、「第41回福岡大学医学部同窓会烏帽子会総会」を開催した。昨年に続き、総会・ご挨拶・講演会の「ハイブリッド方式」で開催。総会に続き、研究奨励賞、FU－OMSAの表彰を行った。

有信会からは川畑名誉理事長、石村理事長が出席。石村理事長は、新型コロナウイルスの拡大の中で、福大病院のエクモを始め、医療における活躍はめざましく、卒業生として誇らしく思います、と祝辞を述べた。この後、朔啓二郎学長（第1回生）が「福岡大学学長ビジョンⅡ」、小玉正太医学部長（13回生）が「同窓会長として共学と卒業生の想いを結んで」、岩﨑昭憲総病院長（5回生）が「近未来の医療を担うために～福大病院の取り組み～」のタイトルで挨拶があり、講演会では田中謙太郎・水戸病院院長の「コロナ禍のメンタルヘルス」、今泉聡福岡大学医学部准教授が「ここは今から倫理です」をテーマに講演を行った。

小玉烏帽子会会長（右）と石村有信会理事長（左）

川畑名誉理事長より目録を贈呈

経済学部同窓会が
ホームページをリニューアル

経済学部同窓会（篠原統会長）は、このたび学部同窓会のホームページをリニューアルする。

2年に1回の総会もコロナ禍で見通せず、2019年の第13回同窓会以降、活動も空白が続いていた。学部同窓会ホームページについてメンテナンスができない事情もあり、幹事会でリニューアルを検討。経済学部は人間国宝（小石原焼陶芸家）の福島善三さん（経済57）はじめ、各界に多くの人材を輩出しているが、来年度は隔年総会の実施年になることから新会員の参加を目指す。また、フェイスブックやインスタグラムなどSNSとも連携し若手会員の参加も呼びかけていく。

高山事務局長は「今後、学部同窓会の発展には若い人たちへ世代交代も必要。ホームページを多くの学部同窓生に参加を呼びかけるツールとしたい」と話している。ホームページは9月に公開予定＝「福岡大学経済学部同窓会」で検索ください。

経済学部同窓会のホームページ

令和4年 学部・学科同窓会開催予定

同窓会名	開催予定日	備　考
法学部同窓会	R4.11/上旬	ホームカミングデー開催日に合わせて
商学部同窓会	R4.10.1（土）	
商学部第二部同窓会	~~R4.10.2（日）~~	中止になりました
工学部同窓会	R5.2	
工学部（機械工学科）	R4.11./上旬	ホームカミングデー開催日に合わせて
工学部（電子・電子情報工学科）	R4.10	

ご注意（開催日程について）

各催しについては、新型コロナウイルス感染症の状況により、スケジュールや実施内容の変更も予想されます。開催日程、実施の詳細については事前にホームページなどでご照会、ご確認ください。

特集

母校中央図書館へ行こう！

8月から有信会員（卒業生）の利用を再開

母校中央図書館は、創立75周年記念事業として2012年に完成、多くの学生が利用している。現在の図書館は5代目にあたる。重厚な1階ラウンジと2～4階には約2000席の閲覧室があり、書庫はコンピューターで自動制御され、希望の書籍が取り出せる。最新鋭の設備と蔵書を誇る全国屈指の図書館として開館した。

コロナ禍で学生のみなど利用が制限されていたが、8月から卒業生（有信会員）も利用再開が決まった。懐かしい母校での勉学の日々を思い起こし、久しぶりに母校図書館を覗いてみてはどうだろう。

◆　◆　◆

利用申請には許可証の発行が必要

コロナ禍で、これまで図書館の利用については在学生のみ利用・貸出しの制限もあったが、8月1日から卒業生（有信会員）への利用再開が決まった。

利用申請にあたっては、図書館利用許可証の発行が必要。初回来館の際に、1階カウンターで「有信会利用です」と言って学籍番号を記入、本人確認書類（運転免許証、保険証など）の提示で、図書館利用許可書が発行される。（原則は事前申込）

（詳しくは母校ホームページの「図書館ウエブサイト」の「利用案内」をご覧ください）

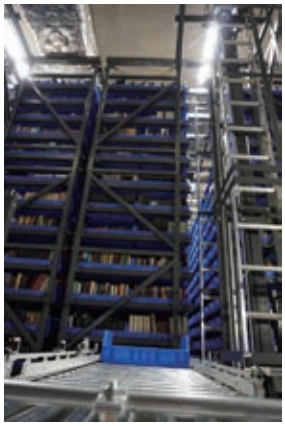
ぜひご利用くださいと話す永星図書館長

週刊誌、新聞が閲覧できる1階ブラウジングコーナー

2階の文庫・新書コーナー

「貸出し」「返却」は2階の総合カウンターで

自動貸出機も利用できる



コンピューター制御の自動書庫

時代に即した開かれた図書館に――永星浩一図書館長に聞く

開館から10年が経ち、これからの新しい時代に対応した図書館像について、永星浩一図書館長＝写真＝に話しを聞いた。

――開館から10年経ちました

本学の図書館は施設のつくりから調度品に至るまで高級なつくりとなっています。その雰囲気を壊すことなく、利用者目線の便宜を図ることによって学生諸君が授業の時間以外の多くの時間を過ごしたくなるような「使われる図書館」を目指したいと考えています。

――飲食できる図書館も増えてきました

学生の居場所の一つとなるような魅力ある図書館にできればと考えています。本学のライバル大学の図書館では、カフェを併設し、蓋付きの飲料の持ち込みが許可され、図書館内で軽食の飲食が可能なスペースが確保されています。ペットボトルや蓋付きの飲料の持ち込みは許可していますが、自販機の館内設置を検討中です。雰囲気のいいカフェを併設したいですね。

――新しい図書館像とは

会話が可能なエリアを広く設定し、会話NGのエリアとに分け、学生の自由な発想の利用を促進するようになっています。また、ほぼすべての席へのコンセント設置を進め、パソコンを使用した勉強に便宜を図っています。新しい時代に合わせ遅ればせながらではありますが、少しずつ変化を遂げつつあります。研究用個室の学生への開放を皮切りに、合同協議会の学生諸君の要望に応える形で、来年度に計画していた一部の机へのコンセントの設置を今年度前倒しで実施することになりました。

戦災図書復旧充実運動を知っていますか

～図書館の復興と、大学昇格へ当時の在学生たちが奔走～

1945年6月の福岡大空襲で、母校の前身校である九州経済専門学校も大きな被害を受け、約8、000冊の図書と図書館を焼失した。1947年の学制改革で、専門学校は新制大学に昇格するか廃校とするかの選択を迫られる。大学昇格の条件の一つに「図書1万冊」があった。しかし蔵書は図書館と共に焼失。この時に立ち上がったのが当時の在学生で、「戦災図書復旧充実運動」として活動し資金集めに奔走する。その資金で図書を購入し1万冊の条件を満たし、1949年に福岡商科大学として新制大学に昇格した。

記念図書館自習室（昭和34年頃）

現在の図書館は5代目で、蔵書数は206万冊を超える。今も図書館には「戦災図書復旧充実運動」の資金で購入した図書が保存されている。

25周年記念図書館―第3代図書館（昭和34年）

◆◆◆ 有信会から絵画を贈呈

有信会では中央図書館の竣工記念に、福岡県出身の画家、中村琢三画伯の油彩「西伊豆の漁村」を寄贈した。藍色の柔らかい闇にだんだんと朝の光が広がっていく美しさが「遠い祖先の遺伝子に届くような作品」と評価された名作。

七隈トピックス　NANAKUMA TOPICS

令和3年度卒業式
4229人が新たな有信会員に

令和3年度の卒業式は3月19日、母校第二記念会堂で行われ、春らしい陽気の中、4，229人（学部4055人、大学院174人）が学舎を巣立ち、新たな有信会会員として　社会へ羽ばたいた。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2年間卒業生が一堂に会しての式典は実施ができず、今年度は感染対策を講じての実施となった。各学部・大学院研究科の総代一人一人に、朔啓二郎学長から学位記が手渡された。

また、課外教育活動において優秀かつ顕著な成績を収め、母校の名声を高めることに著しく貢献した学生に贈られる「学長賞表彰」に、兒玉芽生さん（人文、陸上競技部）と坪根菜々子さん（法、柔道部）の2人が表彰された。

令和4年度入学式
希望を胸に4662人

令和4年度入学式は4月1日、母校第二記念会堂で行われ、桜の花が咲く穏やかな陽気の中、4，662人（学部4，437人、大学院225人）が喜びの日を迎えた。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度は式典を午前・午後に分けて実施。今年度は、3年ぶりに新入生が一堂に会しての入学式となった。朔啓二郎学長は式辞で「本学はワンキャンパスに、全ての学部・学科があります。その環境を十分に活用し、充実した学生生活を送ってください」とエールを送った。

新入生たちはコロナ禍での入学式に緊張しながらも、キャンパスでの新生活に胸を膨らませていた。

野球部 全日本大学野球選手権大会に出場

6月6日から行われた全日本大学野球選手権大会に硬式野球部が出場。昨年は初のベスト 4 入りを果たしたが、準々決勝で上武大学と対戦し、3-5 で惜敗し、2 年連続ベスト 4 進出とはならなかった。

試合後、OB はじめ観客席から奮闘した選手たちにあたたかい拍手が送られた。

＝写真

「世界陸上」に福大 OB・OG4 人が出場 有信会も懸垂幕で応援

7月 15 日から開催された世界陸上競技選手権（アメリカ・オレゴン）に、母校陸上競技部 OB・OG の 4 人が出場した。出場したのは、男子走高跳の真野友博選手（工 H31）、混合 4×400m リレーの久保山晴菜選手（スポ科 H31）、女子やり投げの上田百寧選手（スポ科 R4）、女子 4×100m リレーの兒玉芽生選手（人文 R4）の 4 選手。真野選手が8位入賞したほか、各選手も健闘し大いに母校の名声を高めた。

有信会では母校に懸垂幕（A 棟に設置）を寄贈し、出場選手を応援した。

七隈トピックス　NANAKUMA TOPICS

ユーモアたっぷり 立川生志さんが『ニュース落語』を出版

落語家で母校落語研究部 OB の立川生志さん（人文６１）が、RKB ラジオ『立川生志金サイト』(金 6:30 ～ 10:00) の番組中での “ 時事落語 ” を集めた『立川生志のニュース落語』(梓書院　1,100 円) を出版、話題を集めている。番組では時事ネタをユーモアやウィットを交え、ときに鋭い社会風刺をきかせながら、１週間の出来事を振り返り、番組後半では落語家の番組らしく、ミニ落語や大喜利も披露する。立川さんは「お得ですよ！有信会の皆さんも是非お買い求めを」と PR していた。

メールハーモニーＯＢ会 ３年ぶりにセカンドコンサート

福岡大学メール・ハーモニー OB 合唱団を母体とする福岡ユーゲンツァイトの「セカンドコンサート２０２２」が７月 17 日、福岡市の FFG ホールであった。２０１９年のファーストコンサート開催から新型コロナ感染拡大により２度延期され、３年ぶりに公演。当日は「尾崎喜八の詩から」、「月下の一群」に加え、中島みゆきの作品から男声合唱とピアノのために編曲された「みゆき曼荼羅」などの組曲を披露、観客たちは、久しぶりの男声合唱に美声と響きに酔いしれていた。

文系センター前（旧プール跡）が芝生広場に

文系センター前にあった旧プール跡が整備され、地下鉄口からの正門アプローチ「有信並木」が続き、芝生広場となり、広々とした空間となった。令和３年３月に第一記念会堂跡に新プールが完成し、卒業生には懐かしい旧プールの解体で跡地の整備が待たれていた。

母校の魅力が満載、「福岡大学公式チャンネル」がリニューアル

母校を紹介する公式 YouTube「福岡大学公式チャンネル」の「大学案内動画」がニューアルした。コロナ禍でのキャンパス・授業・部活動・ボランティア活動等の様子、在学生・卒業生からのメッセージ等、母校の魅力を紹介した動画となっている。（「福岡大学公式チャンネル」で検索ください）

荒牧副学長が退任

母校副学長を務める荒牧重登副学長が令和4年3月31日に退任された。荒牧副学長は工学部教授で、研究・情報・地域連携・就職を担当されていた。

ヨット部が艇庫をリニューアル

母校ヨット部の艇庫がリニューアルと救助艇「ななくま」の進水式が、３月 26 日にあった。艇庫は 59 年前の建物で内装のリノベーションと救助艇も進水から 20 数年経ちエンジンが壊れ修理不能となっていた。新しい救助艇ななくまの３代目が進水となりました。大学から栫井学生部長、ヨット部の道下部長、檜垣部長、OB が 20 人、学生らが参加した。ヨット部は創部 64 年。３代目救助艇の「ななくま」は、先日行われた西日本インカレでも選手たちをサポートするという重要な役目を果たした。同部はオリンピック選手も輩出、同部 OB の山際雄嗣さん（商４０）は「創部以来、海難、人身事故ゼロは福大ヨット部の誇りです」と話している。

令和４年度公認会計士試験（短答式試験）に４人が合格！

令和4年度公認会計士試験（第Ⅱ回短答式試験）に母校商学部会計専門職プログラム生4人（2年次生2人、3年次生1人、卒業生1人）が合格した。会計専門職プログラムは、公認会計士試験、税理士試験などのハイレベルな資格試験に在学中に合格することを目指すプログラムで、2012年度に商学部に設置、これまで公認会計士試験（論文式試験）合格者を36人（うち在学中20人）輩出している。

福岡大学のバラ園 ～約 400 株のバラが咲き誇る～

創立７５周年（２００９年）に「有信会」から寄贈したバラ園（イングリッシュガーデン）が今年も赤、白、黄色の色鮮やかな花を咲かせた。大学本館と７号館に囲まれたスポットで、毎年５月頃が見頃。四季咲大輪系バラ 11 種類、四季咲中輪系バラ 11 種類、修景用バラ 8 種類、つるバラ 5 種類の計 392 株が植栽されている。

支部長メッセージ

新型コロナウイルスの感染拡大から有信会各支部の活動も中止や延期が続いている。今回、周年総会再開の準備を進めている各支部に活動状況を報告してもらった。

古賀支部
平　秀次郎　支部長
（法39）

令和2年度は活動停止、令和3年度は本来第20回だが役員会開催のみ。令和4年度に「第20回総会」として資料を作成し書面決議とした。地域貢献活動の一環で、古賀市内の薬王寺水辺公園に平成29年から会員有志で「河津桜」の若木植樹を行っている。今年度も実施の予定で「有信会古賀支部植樹」の銘板を設置し有信会の存在を大いにPRし、会員一同で花見が楽しめることを期待している。

筑紫野支部
熊本　勝久　支部長
（法37）

令和3年度に20周年を迎えたが、コロナ禍のため記念行事が計画できず延期した。しかし、今年度の設立記念月（令和5年2月）に、20周年記念総会の準備を進めたい。当支部は、総会にあわせ市民公開講座も併せて計画していく。筑紫野市在住者、過去3年間の卒業生へ会員加入促進を進め、会員相互の親睦、本部主催の各種会議、隣接支部との交流を図っていく。

別府支部
幸　勝美　支部長
（工52）

本来であれば、昨年に支部創立30周年の記念総会を開催する予定であったが、本年の7月実施で総会を延期をした。ところが、本年3、4、5月にかけてコロナウイルス感染症の感染が治まらない状況が続き、再度11月に延期することとなった。準備へ向けた会議もままならず、不安ではあるが、30年の節目として総会について今年度中に何としても開催したい。

◆　◆　◆

新任支部長（地域・職域）が所信表明

宮崎県支部
児玉　修　支部長
（経済47）

令和3年12月に前支部長が急逝、4代目の支部長を拝命。多大な貢献をされた歴代支部長同様、皆様の更なるご指導、ご鞭撻をお願いたい。一進一退のコロナ禍で会員の近況把握もままならない。令和2～3年度の総会等は中止に。今年度は、支部の団結、会員の交流と、ぜひ総会を開催したいと、役員一同でコロナ禍に対応した総会のあり方を思案している。支部活動の充実を図り、新規会員の発掘に努めていきたい。

遠賀信用金庫支部
江藤　豊臣　支部長
（法H7）

この2年間はコロナウイルスの影響で、全員が集まる総会が実施できていない。時期を見て開催したい。また、会員同士の結びつきも希薄になっている。まずは結びつきを深め、地域との交流、貢献を探っている。当支部は遠賀信用金庫という地域金融機関職員で構成、小規模ながら会員相互で支えあい、愛する地域で活躍する姿を創出したいと考えている。

センコー支部
鎌田　紗季　支部長
（経済H28）

2006年に支部を設立し、会員数は現在23人、全国のセンコーで仲間が会員。活動として支部の周知と総会開催を企画する。積極的に有信会活動にも参加していきたい。まずは、支部内の懇親会（全体、地域でも）を開催したい。

大分市役所支部
安東　太平　支部長
（経済60）

総会開催で会員相互の親睦を深めることが第一。コロナ禍の2年間は支部総会の開催が出来ていない。市役所で顔を合わせるが、若い会員の顔が分からなくなり寂しい。ぜひ今年こそは総会を開催したい。私も来春定年だ、37年前の歓迎会では、「炭坑節」を歌い踊ったのを昨日のように思い出す。先輩方がつないできた母校への思いや伝統を絶やすことなく継続したい。

行橋市役所支部
牧野　陽一　支部長
（工H元）

新型コロナウイルスの影響で活動が制限、昨年度は退職者の卒業旅行が実施できなかった。今年度は状況を見て実施したい。新規会員1人を加え、会員28人で親睦を図る。行橋市の職員採用は応募者が少ない。特に土木職などの専門職員の人材確保に苦労している。支部活動として母校で説明会等を実施して行橋市役所へ入庁してもらえるような取り組みができればと考えている。

福岡銀行支部
吉田　好輝　支部長
（経済H7）

新入行員の歓迎会を兼ね例年6月に総会を開催しているが、新型コロナの影響から、昨年、一昨年に引き続き中止した。来年度は、過去3年分の鬱憤を晴らすべく、盛大に行いたい。当支部は福岡銀行内の会員で組織、新入行員は入会が慣わしで、私が初めて参加した総会では会員数の多さに驚いた。

有信会事務局への挨拶の際、周辺の街並みも大きく変ったが、母校の懐かしい古い校舎には安堵を覚えた。当会の更なる発展に向け微力ながら尽力したい。

【令和4年度 支部総会（周年）開催予定】

支部名	開催予定日	備考
鹿児島支部	R4.10/下旬	60周年
徳島県支部	R4.10以降	30周年
別府支部	R4.11.5（土）	30周年
大野城支部	R4.11.19（土）	20周年
大阪支部	R4.11.19（土）	75周年
愛媛県支部	R4.11/中旬	30周年
沖縄支部	R4.秋季	20周年
飯塚支部	R5.2.17（金）	80周年
筑紫野支部	R5.2/上～下旬	20周年
太宰府支部	R5.2/上～下旬	20周年

支部ヒストリー

創設30年、支部存続へ再登板！
～阿波踊りで母校を応援～

徳島県支部　錦野 伸策　支部長（法49）

「徳島県支部の灯りは消さない」徳島県支部の錦野伸策さんは、30年前の支部創設時の初代支部長。コロナ禍で、この数年支部総会も開催できない状況が続く。設立30年の今年、支部再興を担い再登板を決めた。

再登板に意気込みを語る錦野支部長

52年前、「福岡にいい大学がある」と高校の担任に勧められ、四国・徳島から母校法学部へ進んだ。学生時代は渡邊ゼミ（国際法）の幹事や下宿組合の役員も引き受けた。「活動的な性格になりました」と振り返る。徳島に比べ「博多は大都会。当時の七隈は田畑が広がりのどかな景色で、住みやすくて人情味もあった。福岡は今でも最高の場所です」と懐かしむ。

卒業後は、故郷徳島に帰り、JA徳島信連に勤務。平成4年、徳島県支部設立に関わり、20年間支部長を務め、活動に携わってきた。母校福岡から離れているが、地元には大手製薬メーカーもあり、同窓会員数は少なくないが、総会参加者は低調。「前支部長の川村さんも運営に努力されたが、どうにか継続しているような状況」が続いた。今回、再び支部長を引き受けるにあたり、①これまでの膠着した活動に終止符を打ち、②今後長い活動を行う上で、支部役員も新たな人材に引き継ぐ、③福岡から遠く離れた徳島の地で〝母校福岡大学〟の存在を明確に示す―の3本柱をスローガンに掲げる。

趣味は全国の〝灯台〟を巡る旅。昨年は鹿児島・大隅半島の佐多岬灯台へ足を運んだ。「徳島県支部の灯台の灯も消さないよう頑張ります。徳島の有信会会員の皆さん、是非ご参加お願いします！」と呼びかける。

阿波踊りで支部への参加を呼びかける

全国各地で職域支部、地域支部を開催

有信会は、「学部同窓会」のほか、東京から沖縄まで62の「地域支部」、36の「職域支部」があり、活発な同窓会活動を行っています。（掲載は2022年6月～2022年7月開催分）

◆　◆　◆

【東京支部】

6月4日、昨年と同じくリモート（Zoom）で「令和4年度東京支部定時総会」を開催、会員22人が参加した。朔学長のビデオメッセージと、有信会川畑名誉理事長、石村理事長の祝辞を猪野副支部長が代読。志渡澤キャリアセンター事務部長、岡田東京事務所室長はZoomで参加、ご挨拶いただいた。

議題の令和3年度決算報告、令和4年度活動計画、予算案、役員改選等をすべて承認。次年度は、来賓を招き懇親会が開催できるように願う。

リモートで「東京支部定時総会」を開催

【太宰府支部】

7月2日、3年ぶりの支部総会を太宰府市地域活性化複合施設の「太宰府館」で開催した。母校から三島薬学部長、有信会から松原理事、筑紫野支部からの来賓含め21人が参加。三島薬学部長の祝辞があり、母校の現役生、OB・OGの活躍を聞いた。議事では役員改選、事業計画、予算、会則の改正の4案を全て承認。

今年度は支部20周年記念事業を予定、役員会で具体化して実施に向けて活動していく。懇親会は中止としたが、会員同士の変わらぬ絆を実感、盛会のうちに終了した。

3年ぶりの支部総会を開催

有信会理事・監事に聞く

～コロナ禍の有信会と母校100周年に向けて～

新型コロナウイルスの感染拡大等により、会員大会はじめ、有信会事業の中止が続いている。今回、有信会理事・監事に、コロナ禍の同窓会活動や12年後の母校100周年への思いなどを聞いた。（敬称略、順不同）

篠原　統（経済40）
事業委員会　副委員長

これからの同窓会の在り方について、現段階ではコロナへの考えは今まで通りで良いと思う。高齢者（私も含め）の方が多いので考慮をしたい。今後は若い人たちと世代交代も必要。100周年とは「100年に一度の行事」。コロナに注意しつつ盛大にやりたいと思う。行うにしても問題は山積だが「やる！」という意志が必要。

吉田　茂視（経済41）
事業委員会

コロナ禍で学生の勉学環境も大きな影響を受けたことは言うまでもない。同窓会として、何よりも学生が安心して勉学に取り組める環境や設備等への支援協力を第一に取り組むべきだ。一層母校と協力し、学生への継続的支援が（有信会）の使命ではないか。会員間の絆をより深め、有信会として活動が太く長く続いていくよう、微力ながら協力していきたい。

百田　篤（商42）
総務委員会　委員長

コロナ禍で考えるこれからの同窓会の在り方については、さまざまな状況を踏まえながら他の理事・監事の意見を聞き、協力しながら、運営、実施へ向けて努力していきたい。また、12年後の母校100周年へ向けては、まずは有信会組織の活性化が必要と考える。そのためにも各委員会に若い代議員が多く参加出来るような環境づくりに努めたいと思う。

鬼木　彬（商二44）
事業委員会

事業委員として、事業活動をどう推進させるか、コロナ対策には非常に判断に悩んだ結果、すべての会合が中止となった。オンライン総会も構築し、飲食をしない、コロナが収束すれば従来に戻す。現状、飲食を伴う大会は無理。例えば昼間に総会と講演会。3時間以内でパーティーは中止。オンライン総会へのシステムは早急に検討する必要がある。

石橋　康治（商46）
組織委員会

有信会は活動規模は小さくない。コロナ事案発生となれば、その影響は大きい。その意味で催しが中止になったが感染拡大抑止に貢献したと言えるのではないか。今後は慎重に、開催の可否を適切に判断するほかない。より安全なコミュニケーションのとり方としては、リモートに尽きる。大学支援、同窓のつながり、喜びを感じるコンセプトを考えたい。

井上　文博（法48）
IT委員会

コロナ収束がまだ見通せない中、大勢で集まる形の活動は制限を受けることが想定され、各学年・各サークルでメーリングリストやグループラインを構築し、情報伝達の『横の糸』を強固にすることに努めたい。卒業生には有信会の活動をもっと知ってもらう。母校100周年へ向け、現役生が若手卒業生と交流、就職活動や進学などについて相談できるオンラインの交流会など有信会の認知度を高めていきたい。

水原　博而（体育48）
組織委員会　副委員長

コロナ禍で考えるこれからの同窓会については、適切な処置を個々で行うことで、できるだけ会合や事業を実施していきたいと思う。来る100周年へ向けて、同窓会も記念誌を発行できるようにこれから準備してはどうだろうか？

山下　哲雄（人文49）
広報委員会

コロナ禍の中で考えるこれからの同窓会の方向性として、同窓会の本質をなす「親睦」を妨げる状況が未だに続いている。よって会員相互の親睦を深めることがなかなかできない。現状では、このような事態がなかった過去の活動など、そして今後の同窓会の姿に思いを馳せていきたい。

村上　繁（理49）
広報委員会　委員長

2020年に準備していた理学部50周年同窓会は、コロナウイルス感染から中止せざるを得ない状況だった。今後の活動もそれが大前提となる。現状では小人数（同期生4～5人）で集まり、是非横の絆をより強くしてほしい。100周年へ向け、母校の社会的な地位・評価を高め、朔学長の「選ばれる大学となるよう魅力を磨いていく」へ協力して頑張っていきたい。

長濱　和久（経済63）
事業委員会

会員が直接会い交流を深めることが一番良いとは思うが、これからの同窓会は、感染予防対策等を十分に行い集う形式と、参加できない方に対しては、オンラインで中継を選択できるようにする必要があるのではないか。最新技術の導入、活用で、参加の選択肢が広がり、さらなる発展に繋がれば素晴らしい。諸先輩方が築き上げてきた有信会を微力だが母校の発展に寄与したい。

松原　秀樹（法50）
組織委員会　委員長

会員の親睦には、やはり「直接、近くにいて声を聞き触れあうことが大事。感染拡大期には非対面、会員の健康を第一に考え、安心・安全な開催により、有信会の発展、大学支援を図っていくことが大事だ。100周年へ向け、有信会本部と地域支部、職域支部、学部同窓会、クラブ同窓会と情報の共有、活性化を図り、多数が集い絆を深められるよう頑張りたい。

森　淳（工H11）
IT委員会　副委員長

コロナ禍で人と人の繋がりの大事さを再確認できた。オンラインなど新しい手法も必要だが、対面の機会は無くさずにタイミングを図り実行すべき。リスク想定しながら今後の活動を緩めずに行っていく。母校100周年という歴史を大事にしつつ、新しい世代の取り込みも必要。まずは中間、若年層の関心度を上げ、開拓していきたい。「変わる部分と変わらない部分」を見極めながら推進していく。

髙木　忠博（医S53）
IT委員会

コロナ禍であっても同窓会は同窓会らしく、淡々と活動を持続する事が福大有信会らしい活動と思う。感染症くらいで動揺するのは「ミットモナイ!!」と思う。母校100周年へ向けて「有信会は1つ。9学部が1つとして、来る100周年を目指す」活動をしたい。

小島　隆志（商57）
IT委員会　委員長

コロナ禍でほとんどの会合がストップ状態にある。最近、重症化する人は少ないが、まだまだ安心できない。と言って、会合を止めてしまうのはどうなのか。zoom等の遠隔で、参加できるようにするのも、考えの一つに入れなければならないのではないか。100周年へ向けてだが、大半の卒業生は有信会または母校に対して関心が薄いようだ。有信会、母校を広く知ってもらう活動が先決ではないか。

内田　祐子（商54）
広報委員会　副委員長

コロナ禍は、これまで慣れ親しんだことなど様々を大きく変えてしまった。今後は柔軟に変化していくことも、これからの時代は重要だと感じる。時代に応じた密な交流、絆を築く交流とは何か、模索しながら積極的なチャレンジができる同窓会を目指したい。歴史を刻む母校の発展は大変誇らしくありがたい。会員の交流、有信会の活力を高め、学生との交流を大切にする活動を行いたい。

山口　秀朗（商53）
監事

コロナ禍で3年間、総会及び各地域の同窓会活動を自粛してきた。同窓会でも、先輩、後輩と直接お会いし、会話をすることは重要であると思う。コロナの感染状況を考慮しながら、少しづつ開催できればと考える。今後の有信会の活動を活発にするには、有信会会員（卒業生）が有信会ホームページから情報を得ることと並行し、有信会全体、地域ごとに「情報をメール」等での提供ができればと考える。

辻　勝也（工56）
IT委員会

コロナ禍でここ数年、有信会同窓会がほとんど開催されていない。対面式が難しくなった今、ITを駆使したオンライン会議を併用した方式に切り替えていくことも望ましい。オンラインに抵抗のない若い年齢層の参加を促す契機になる。今後、若い世代の卒業生に「有信会」の魅力を伝え、参加を促すことが大きな課題。有信会の組織運営も充実できるよう理事として努めていきたい。

隈　扶三郎（法62）
監事

ビジネスを含めてオンラインが普及しコミュニケーションの方法も多様化してきた。有信会のような大規模な組織は、リアルとオンラインの併用で活動への参加を促進できるのではないか。100周年に向け、経営者として産業界と大学の繋がりに貢献して行きたい。運営についても貢献していけば、本学の知名度を一層押し上げる事となり、我々同窓生にとっても大きな励みとなる。

令和３年度　事 業 報 告

一般社団法人福岡大学同窓会有信会は、昭和12年3月に福岡大学の前身福岡高等商業学校第一回生の卒業と同時に発足し、名称を「友信会」とした。昭和27年5月25日に「有信会」に名称変更し、文部省（現文部科学省）の許可を得て昭和30年2月1日社団法人有信会として発足し、公益法人制度改革三法の施行により、内閣総理大臣の認可を得て平成25年4月1日に一般社団法人に移行し、一般社団法人福岡大学同窓会有信会（以下「有信会」という。）に名称変更した。

本年度は、同窓会発足から84年目、社団法人発足から66年目、一般社団法人移行から8年目を迎えた。

有信会の事業としては、令和2年1月に国内で感染者が確認された「新型コロナウイルス感染症」は新規陽性者数が急激に増える「感染の波」が繰り返され、令和3年1月からは2回目の緊急事態宣言の発出、4月からは変異ウイルス「アルファ株」への置き換わりによる感染拡大で3回目の緊急事態宣言の発出、7月からは「デルタ株」への置き換わりによる感染拡大で4回目の緊急事態宣言の発出、令和4年1月からは「オミクロン株」が急拡大し、まん延防止等重点措置が適用され、年度を通して感染症拡大の防止及び感染リスクの減少のため、大人数を集めての事業を中止した。しかし、コロナ禍の中で必要な母校等への支援や各種会議・会合の開催、広報活動等は行った。

1　母校への支援

母校及び在学生への支援を行った。

⑴**母校及び在学生への経済的支援等**　令和3年5月16日（日）に予定していた、卒業生を母校に迎える「ホームカミングデー」をコロナ禍で11月に延期したが、コロナへの感染が払拭できないことから中止した。
コロナ禍の中で、母校及び在学生へ次の支援を行った。
・福岡大学で実施する「ワクチン接種」の援助費として200万円を支援した。
・福岡大学のブランド向上を図るため「新プール」「病院新本館建設」等を題材としたそれぞれの新聞広告への援助費として200万円を支援した。

⑵**在学生との懇談会の中止**　在学生の人材育成の取組みとして、産業界などで指導的役割を果たされている多くの先輩と有意義な情報交換の場となる「在学生との懇談会」を同年5月12日（水）に予定していたが中止した。

⑶**有信会奨学基金の奨学生採用**　有信会が、一般社団法人に移行する際に母校に贈った特定寄付金を原資とした「有信会奨学基金」（貸与型）の奨学生に、下田将史さん（医学部6年）及び田島里歩さん（医学部4年）が採用された。同年7月2日に60周年記念館3階「ヘリオスホール」にて奨学生採用式が行われ、川畑懿子名誉理事長、石村國芳理事長他が列席した。

⑷**褒賞金の贈呈**　東京2020オリンピック、パラリンピック競技大会、国際大会及び全日本大会に出場し優秀な成績を収める等の活躍した、陸上1名、バドミントン1名、体操1名、ソフトボール1名、卓球1名、福岡大学附属大濠高等学校バスケットボール部、福岡大学附属若葉高等学校ダンス部に褒賞金を贈呈した。

⑸**福岡大学病院新本館（仮称）建設募金への寄付**　同年10月に建設工事が始まり、令和6年に開院することが決まった福岡大学病院新本館（仮称）の募金活動が開始されたことから、母校に500万円の寄付を行った。

⑹**東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会出場を祝う横断幕及び懸垂幕の作成等援助**　同年7月24日から開幕した東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に陸上の兒玉芽生さん（人文4年）、バラバトミントンの藤野遼さん（商R2）の出場を祝うため母校に掲示する横断幕及び懸垂幕の作成等への援助費として46万2千円を支援した。

⑺**就職支援ガイダンス等**　在学生と有信会会員との就職相談会、専門職有資格者による国家資格取得への支援ガイダンス等について、母校キャリアセンター（旧就職・進路支援センター）の活動等に協力した。

2　公益活動の推進

地域社会との連携を深め、また、地域福祉を含めた公益活動を中止した。

⑴**講演会の中止**　令和3年6月26日（土）の会員大会当日に予定していた、一般市民も参加可能な「公開講演会」を中止した。

⑵**社会福祉活動の中止**　有信ゴルフ会は、秋季にチャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー募金を福祉施設等に寄贈する予定であったが、ゴルフ大会を中止した。

3　事業活動の充実と会員相互の親睦強化

⑴**会員大会の中止**　令和3年6月26日（土）に予定していた、「会員大会」を中止した。

⑵**レディーズクラブのつどいの中止**　同年10月9日（土）に予定していた、「レデイーズクラブのつどい」を中止した。

⑶**新年賀詞交換会の中止**　令和4年1月11日（火）に予定していた、「新年賀詞交換会」を中止した。

⑷**有信八日会の中止**　会員の懇親、情報交換、異業種交流等の目的で開催している「有信八日会」を中止した。通常例会は、6回（7月、9月、10月、11月、2月及び3月）、8月大交流会及び12月忘年八日会と併せて年間8回のすべてを中止とした。

4　各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じ開催し、組織の活性化に努めた。

⑴**理事会**　第1回（令和3年5月）、第2回（同年6月）、臨時（同年6月）、第6回（令和4年2月）、第7回（同年3月）は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため開催を中止した。開催中止に伴い、全理事に対し書面による議題の同意を依頼し、決議された。
また、第3回（同年6月）、第4回（同年7月）第5回（同年12月）理事会は、福岡県内の感染者数が減少していたことから、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手の消毒」をはじめとした新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催した。
なお、理事会では関連する重要事項を精査のうえ審議し、業務の円滑化に努めた。

⑵**定時代議員総会**　令和3年6月26日（土）に予定していたが、開催を中止した。開催中止に伴い、全代議員に対し書面による議題（令和2年度事業報告の承認、令和2年度決算の承認及び理事・監事の選任）の同意を依頼し、決議された。

⑶**地域・職域支部長会**　同年6月26日（土）の会員大会同日に予定していた、「地域・職域支部長会」を中止した。

⑷**各委員会**　有信会の活動分野ごとに設けている委員会を必要に応じて開催した。

⑸**母校福岡大学との連絡会議の中止**　母校と有信会との意思疎通を図るため、必要に応じ関係役職者や関係部局と連絡会議を行っているが、同年12月9日（木）に予定していた、大学役職者と有信会役職者との連絡協議会を中止した。

5　広報活動の充実

全国の有信会会員に広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の運営方針や活動状況、各支部の活動、母校の現況などを発信した。160号については、前年度の有信会活動や支部総会の中止等からページ数を減らした。

⑴**広報紙「有信」**　160号（8月発行分）は、終身会費未納（一部未納を含む。）の会員にも発送。

発行年月	号　数	様　式	ページ数	印刷部数
令和3年8月	160号	全頁カラー	12	161,000
令和4年3月	161号	全頁カラー	16	96,000

⑵**ホームページ**　平成31年4月にリニューアルしたホームページの内容の更新に努め、会員に最新の情報を届けると共に、各種行事や支部の行事予定、会員提供による企業情報等を充実、学生の顕著な活躍や成績のタイムリーな掲載に努めた。また、学生の活動状況を知るために母校ホームページのアクセスが簡単にできるように努めた。より使いやすいホームページを目指し、随時見直しのための検討を行い改善した。

6　組織の活性化

有信会を支える地域支部62、職域支部36、各学部同窓会,学年別同窓会及び学友会OB会が、各々の趣向で支部総会等を通して絆を深めているが、令和3年度は別府支部及び東京支部（リモート）の2支部で総会が開催されたが、その他は支部総会等が中止となった。

7　会員データベースの充実と情報管理体制の徹底

会員の住所データや近況情報の更新等のため、日々地道な調査を続けている。特に住所変更調査は、個人情報保護法の施行に伴い、同窓会名簿の追跡調査に支障をきたすケースも増大している。
広報紙「有信」等発送後、宛先不明として返送された会員について追跡調査をしているが、判明率は芳しくない。会員の個人情報に関する情報収集・変更・管理・保全等に関して法令順守に努めた。

8　財政基盤の強化

⑴**終身会費徴収の徹底**　終身会費未納の卒業生に対し、令和3年8月発行の「有信」に会費納入依頼書を同封し、督促を行った。

⑵**経費節減の努力**　会議や集会の通知等に郵送だけでなく、メールやFAX等を活用し、郵送費節減に努め、事業活動においても効率的な運営を行うように努めた。

◆有信会の主なスケジュール◆

月日	予定行事
9/10	田川支部総会
24	前期卒業式
10/1	商学部同窓会
〃	鳥取西部支部総会
10/22	宮崎県支部総会
中	神戸支部総会
上~下	遠賀信用金庫支部
中~下	鹿児島支部総会（60周年）
11/5	別府支部総会（30周年）
12	東海支部総会
18	下関支部総会
19	大野城支部総会（20周年）
〃	大阪支部総会（75周年）
26	岩国支部総会
上	ホームカミングデー
〃	法学部同窓会
〃	工学部機械工学科同窓会
上~中	八女筑後同窓会
中	島根東部支部総会
〃	宇部支部総会
〃	愛媛県支部総会（30周年）
12/10	天草支部総会
上	第４回理事会
1/中	長門支部総会
2/17	飯塚支部総会（80周年）
上	第５回理事会
〃	添田支部総会
〃	大分市役所支部総会
上~下	筑紫野支部総会（20周年）
〃	太宰府支部総会（20周年）
3/19	令和４年度大学卒業式

［注］上中下は上旬、中旬、下旬

※新型コロナウイルス感染症の状況によりスケジュール等の変更があります。

令和３年度　貸　借　対　照　表

（令和４年３月31日現在）

（単位：円）

科　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	263,573,333	230,308,777	33,264,556
預り金預金	100,556	104,544	△3,988
流動資産合計	263,673,889	230,413,321	33,260,568
２．固定資産			
(1)　基本財産			
基本金資産	300,000	300,000	0
基本財産合計	300,000	300,000	0
(2)　特定資産			
退職給付引当資産	6,619,000	5,669,000	950,000
特定資産合計	6,619,000	5,669,000	950,000
(3)　その他固定資産			
事業積立金Ⅰ	340,000,000	310,000,000	30,000,000
什器備品	907,789	730,107	177,682
その他固定資産合計	340,907,789	310,730,107	30,177,682
固定資産合計	347,826,789	316,699,107	31,127,682
資産合計	611,500,678	547,112,428	64,388,250
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
前受会費	101,505,000	102,457,500	△952,500
未払金	6,300,754	5,699,100	601,654
預り金	100,556	104,544	△3,988
流動負債合計	107,906,310	108,261,144	△354,834
２．固定負債			
前受会費	98,572,500	100,897,500	△2,325,000
退職給付引当金	6,619,000	5,669,000	950,000
固定負債合計	105,191,500	106,566,500	△1,375,000
負債合計	213,097,810	214,827,644	△1,729,834
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	300,000	300,000	0
(うち基本財産への充当額)	(300,000)	(300,000)	(0)
２．一般正味財産	398,102,868	331,984,784	66,118,084
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,619,000)	(5,669,000)	(950,000)
正味財産合計	398,402,868	332,284,784	66,118,084
負債及び正味財産合計	611,500,678	547,112,428	64,388,250

令和３年度　正味財産増減計算書

（令和３年４月１日から令和４年３月31日まで）

（単位：円）

科　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1)　経常収益			
財産運用収益	39,916	67,768	△27,852
受取会費収益	145,465,000	133,565,000	11,900,000
受取会費収益(1)	(135,795,000)	(131,587,500)	(4,207,500)
受取会費収益(2)	(9,670,000)	(1,977,500)	(7,692,500)
受取負担金収益	0	0	0
有信共益事業収益	0	0	0
有信八日会収益	(0)	(0)	(0)
有信ゴルフ会収益	(0)	(0)	(0)
雑収益	0	100,000	△100,000
経常収益計	145,504,916	133,732,768	11,772,148
(2)　経常費用			
事業費	50,614,324	40,897,575	9,716,749
母校援助費	19,105,200	17,733,670	1,371,530
広報誌発行費	26,746,928	16,939,831	9,807,097
ＩＴ事業費	2,033,496	2,005,496	28,000
会員大会費	1,015,259	1,015,259	0
レディーズクラブ総会費	220,000	220,000	0
講演会費	0	0	0
新年賀詞交換会費	0	0	0
支部援助費	1,493,441	2,983,319	△1,489,878
有信共益事業費	0	0	0
有信八日会支出	(0)	(0)	(0)
有信ゴルフ会支出	(0)	(0)	(0)
管理費	28,772,500	26,369,013	2,403,487
給料手当費	14,173,642	14,292,630	△118,988
福利厚生費	2,426,669	2,125,015	301,654
会議費	2,073,761	1,432,646	641,115
旅費交通費	1,123,040	588,800	534,240
通信運搬費	1,166,676	959,124	207,552
消耗品費	936,345	1,009,469	△73,124
印刷製本費	1,935,844	1,706,931	228,913
賃借料費	861,632	861,183	449
光熱費	217,294	225,454	△8,160
支払手数料費	183,856	103,440	80,416
公租公課	56,092	60,360	△4,268
雑費	2,466,059	2,093,982	372,077
退職給付費用	950,000	763,000	187,000
減価償却費	201,590	146,979	54,611
経常費用計	79,386,824	67,266,588	12,120,236
当期経常増減額	66,118,092	66,466,180	△348,088
２．経常外増減の部			
(1)　経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)　経常外費用	0	0	0
什器備品除却損	8	2	6
経常外費用計	8	2	6
当期経常外増減額	△8	△2	△6
当期一般正味財産増減額	66,118,084	66,466,178	△348,094
一般正味財産期首残高	331,984,784	265,518,606	66,466,178
一般正味財産期末残高	398,102,868	331,984,784	66,118,084
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000	300,000	0
指定正味財産期末残高	300,000	300,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高	398,402,868	332,284,784	66,118,084

令和３年度　収　支　計　算　書

令和３年４月１日から令和４年３月31日まで

（単位：円）

科　目	予算額(A)	決算額(B)
Ⅰ　事業活動収支の部		
１．事業活動収入		
①　財産運用収入		
財産運用収入	60,500	39,916
②　会費収入		
会費収入(1)	135,247,500	135,795,000
会費収入(2)	3,700,000	9,670,000
③　負担金収入	2,870,000	0
④　有信共益事業収入		
有信八日会収入	3,700,000	0
有信ゴルフ会収入	1,950,000	0
⑤　雑収入	1,000	0
事業活動収入計	147,529,000	145,504,916
２．事業活動支出		
①　事業費支出		
母校援助費支出	21,300,000	19,105,200
広報紙発行費支出	28,550,000	26,746,928
ＩＴ事業費支出	2,300,000	2,033,496
会員大会費支出	6,710,000	1,015,259
レディーズクラブ総会支出	1,555,000	220,000
講演会費支出	2,536,000	0
新年賀詞交換会支出	2,263,000	0
支部援助費支出	14,650,000	1,493,441
有信共益事業支出		
有信八日会支出	3,700,000	0
有信ゴルフ会支出	1,950,000	0
事業費支出計	85,514,000	50,614,324
②　管理費支出		
給料手当支出	15,860,000	14,173,642
福利厚生費支出	2,390,000	2,426,669
退職金支出	0	0
会議費支出	3,500,000	2,073,761
旅費交通費支出	3,625,000	1,123,040
通信運搬費支出	1,770,000	1,166,676
消耗品費支出	860,000	936,345
印刷製本費支出	2,810,000	1,935,844
賃借料支出	900,000	861,632
光熱費支出	200,000	217,294
支払手数料支出	250,000	183,856
公租公課	70,000	56,092
雑費支出	4,310,000	2,466,059
管理費支出計	36,545,000	27,620,910
事業活動支出計	122,059,000	78,235,234
事業活動収支差額	25,470,000	67,269,682
Ⅱ　投資活動収支の部		
１　投資活動収入		
①　退職給付引当預金取崩収入	0	0
投資活動収入 計	0	0
２　投資活動支出		
①　特定資産引当資産支出		
退職給付引当預金支出	950,000	950,000
②　固定資産取得支出		
事業積立金Ⅰ繰入支出	30,000,000	30,000,000
什器備品取得支出	500,000	379,280
投資活動支出計	31,450,000	31,329,280
投資活動収支差額	△31,450,000	△31,329,280
Ⅲ　財務活動収支の部		
１　その他の収入		
前受会費収入	98,160,000	99,180,000
その他の収入計	98,160,000	99,180,000
２　収入調整勘定支出		
前受会費調整支出	102,457,500	102,457,500
収入調整勘定支出計	102,457,500	102,457,500
財務活動収支差額	△4,297,500	△3,277,500
Ⅳ　予備費支出	3,000,000	0
当期収支差額	△13,277,500	32,662,902
前期繰越収支差額	224,919,000	224,609,677
次期繰越収支差額	211,641,500	257,272,579

TOPICS

暑い夏に「南極の氷」はいかが
鬼木さん（商二44）が寄贈

「南極の氷を役立てて」―、鬼木彬さん（商二44）が、南極での観測支援を行っている海上自衛隊砕氷艦「しらせ」が現地で採取した氷を、南極観測隊の経験もある母校の林政彦理学部長（地球圏科学科教授）へ贈った。＝写真

鬼木さん（右）／林理学部長（左）

砕氷船「しらせ」は南極にある基地への物資輸送が任務で、帰路は船体のバランスなど安全な航海維持のため大量の氷を船に詰め込んで帰り、氷は関係者に配られる。今回、鬼木さんが氷を入手し、母校への寄贈を思いついた。

「南極の氷」は長い歳月をかけて降り積もった雪が、押し固められて出来たもので「ぷちぷち」と音が立ち、太古の昔の空気が外にでる音がするという。

太古の歴史を感じる南極の氷

諫早支部名誉顧問
出口喜男さん（高商18）が死去
世界的な書家としても活躍

現役で診療をしていた出口さん

諫早支部の名誉顧問で、医師、書家としても活躍した出口喜男さん＝写真＝が4月23日に亡くなった。98歳だった。

出口さんは長崎県生まれで、昭和18年に母校の前身、福岡高商在学中に実姉の死（妊娠中毒症）に直面。「姉のような女性を救いたい」との思いから進路を産婦人科医に替え医学部へ。戦後、諫早で開院。その後、母親の介護体験から特別養護老人ホーム（特養）を開設し、高齢者の医療福祉に尽力した。

また、書道と出会い「出口恵山」の雅号で、前衛書家として数々の世界的な賞を受賞した書の大家としても有名。作風は「世界の人たちにも書に親しんでもらいたい」と〝LOVE〟〝PEACE〟〝LIFE〟の英字に色彩を施す。生涯、医療の現場でも、創作活動でも現役を貫かれた。

「宝」の書の色紙

お知らせ

マンドリンクラブ
創立60周年記念
演奏会

開催日／令和4年9月24日(土)
会　場／ももちパレス
連絡先／合同実行委員長
松井090・1196・0345

有信会員の皆様へ

有信会員の皆様へ

ご住所、連絡先の変更は事務局へご一報を！

氏名・住所・勤務先・電話番号等を変更された場合、お手数ですが事務局までご連絡してください。

スマートフォン、PCから有信会ホームページ（有信会＝検索）へアクセスして入力してください。

お悔やみ申し上げます

【福岡大学関係】

名誉教授（医学部）西園昌久（93歳）令和4年4月逝去
名誉教授（商学部）藤本隆士（96歳）令和4年6月逝去
名誉教授（医学部）田中　彰（82歳）令和4年6月逝去

【有信会関係】

久留米支部長（経済学部代議員）近藤英紀（81歳）令和4年2月逝去

【お詫びと訂正】

3月発行「有信」第161号の16ページのお悔やみで、「名誉教授（薬学部）井上　亨（74歳）令和4年1月逝去」とあるのは、正しくは「名誉教授（理学部）井上　亨（74歳）　令和4年1月逝去」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。